

▶▶長崎県五島市

離島のハンデを乗り越える
ためICTで教育充実

五島市は、小学校13校、中学校8校、小中併設校が3校あり、その中には5学級以下で構成される複式学級を持つ小規模校もあります。また、離島であるが故に、課外授業や部活動の遠征・合宿で島外へ出るのにも船や飛行機を使わなければなりません。

そのような中で、五島市では、「島の子どもと他校、他県、世界の人との交流を」という目標の実現に向けて、ICT環境の整備を積極的に進めており、その財源に全国から寄せられたふるさと納税を

用しています。

各学校に設置した機器を使って子ども達が授業を受ける様子を、寄附者へのお礼動画として市が制作し、動画サイトや市のウェブサイト等で公開しています。



他校の「同級生」との授業



北海道の小学校との合同授業

注力した点や工夫した点

ICT支援員を配置し、各学校での研修会の開催、電子機器の操作マニュアル作成を行うことにより、不慣れた教師であっても、寄附による支援が最大限活用されるように気を付けています。

Check

取組の効果

市内の小中学校に電子黒板機能付きプロジェクター、プロジェクターを投影するためのスクリーン、タブレットなどを設置しています。

ICT環境が整ったことでインターネットを活用したビデオ通話により遠隔授業が可能となり、学校規模に関係なく学校間の交流を行うことができます。

小学校では、島内の小規模校同士で一斉授業を実施したほか、北海道の小学校と遠隔授業を行いました。

中学校では、外国語指導助手のア

メリカ在住の友人と英語で交流し、自己紹介や五島市の紹介などを行いました。自分の英語が通じたことで、生徒には自信が生まれ、英語を学ぶ上での励みになりました。



電子黒板機能付きプロジェクター



島の子どもがアメリカ在住の方と英会話で交流

寄附者の声



- ・日本の未来を背負う子ども達が五島の良さを充分知って、日本や世界に発信して欲しいです。
- ・次世代への投資ができた気分です。

住民の声



- ・外国語指導助手の友人と交流することが出来て、楽しく、良い経験になりました。(中学校在学)